

令和7年度

渋川市教育行政方針

教育・文化の振興



渋川市教育委員会

基本理念

渋川市教育委員会は、幅広い知性を身に付け、豊かな徳性と社会を生き抜く創造力を培い、心身ともに健康で活力ある人間の育成を目指して教育行政を推進します。

また、郷土を愛するとともに、学び合い、励まし合い、ともに生きる「教育都市渋川」の教育の振興に努めます。

基本方針

- 1 子どもたちが学ぶ楽しさや喜びを味わい、国際的視野に立って共生社会をたくましく生きる力を身に付けるための、魅力ある学校教育の充実
- 2 生涯にわたって主体的に学び、より豊かに生き生きと暮らすための、活力ある生涯学習の充実
- 3 郷土の伝統・文化を学び、ふるさと渋川への愛着と誇りを醸成するための、文化財の保護と活用の充実

目次

基本方針Ⅰ	【学校教育の充実】	ページ
1	信頼される園・学校経営の推進	1
2	「確かな学力」の向上	2
3	「豊かなこころ」の育成	3
4	「すこやかな体」の育成	4
5	多様な教育的ニーズ等に対応する教育活動の充実	5
6	小中学校適正規模・適正配置の推進	7
7	学校施設の整備・充実及び長寿命化の推進	7
8	児童生徒の通学支援	8
9	学校給食の充実	8

基本方針Ⅱ	【生涯学習の推進】	
1	自ら学ぶ意欲を培う意識啓発と市民参加の促進	10
2	文化・芸術に親しむ機会の充実と活動の振興	10
3	青少年健全育成の推進	11
4	学校を核とした地域づくりの推進	11
5	共生社会における人権教育の推進	12
6	公民館活動の推進	12
7	図書館運営の推進	13
8	美術館事業の推進	14
9	文学館事業の推進	15

基本方針Ⅲ	【文化財の保護と活用】	
1	文化財の保護・管理の推進	16
2	文化財の活用と整備の推進	16
3	伝統文化の保存・継承活動の支援	16
4	自主活動団体の育成・支援	17

「指標」について

渋川市教育振興大綱の期間（令和5年度から令和10年度まで）において、教育行政方針の重点施策の達成度を把握するため現状値と令和10年度の目標値を定めました。（指標がない施策もあります。）

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 6年度)	目標値 (R 7年度)	目標値 (R 10年度)

※基準（R 5年度）については、実績値に修正いたしました。

基本方針Ⅰ 学校教育の充実

「確かな学力」、「豊かなこころ」、「すこやかな体」の調和を図り、一人一人が学ぶ楽しさや喜びを味わい、国際的視野に立って共生社会をたくましく生きることができる力を育てます。

また、家庭や地域との連携を強化し、地域の特色・文化を活かした魅力ある園・学校づくりを推進し、ふるさと渋川を愛し、互いを尊重し、思いやりの心をもった子どもたちの育成に努めます。

1 信頼される園・学校経営の推進

(1) 園・学校経営構想の充実と全教職員が経営に参画する体制の確立

- ア 学校評価等により把握した課題に基づいた園・学校経営方針の具体化と園・校長のリーダーシップのもと、全教職員が園・学校経営に参画する体制の確立
- イ P・D・C・A（計画・実施・評価・改善）のマネジメントサイクルを生かした適切な教育課程の編成・実施

(2) 教職員の指導力向上とメンタルヘルスの保持

- ア 教職員の職能成長を促す人事評価制度の活用と保育や授業の改善を目指した実践的な園・校内研修の充実による教職員の指導力の向上
- イ 職場内の温かい人間関係の構築と働き方改革の趣旨を生かした職場環境の整備、規律確保行動計画の点検評価及び服務規律委員会の計画的な実施

(3) 生徒指導及び安全管理の徹底・充実

- ア いじめ・不登校の未然防止の強化と支援の充実
- イ 家庭・地域等と連携した登下校の安全対策の充実と危険予測・回避能力育成等を重点化した安全教育の徹底

(4) 地域とともにある学校づくりの推進と積極的な情報発信

- ア 学校運営協議会を核とした学校・家庭・地域が連携・協働する学校づくり、コミュニティ・スクールの推進
- イ 家庭や地域、自治会や公民館等の関係機関との連携強化により、学校・家庭・地域が一体となった子育て環境の整備
- ウ 園・学校の経営方針や学校・家庭・地域の「育てたい子どもの姿」の具現化に向けた取組についての積極的な情報発信および情報共有

(5) 「共同学校事務室」の設置及び推進

ア 法令化による設置により、事務の共同処理の適正かつ円滑な執行と事務処理体制の確立・強化

イ O J Tによる事務職員の職能成長と、積極的な学校経営参画をめざした共同事務の工夫・改善及び充実

(6) 幼稚園教育の充実

ア 幼児の発達過程を見通し、幼児の生活の連続性、季節の変化等を考慮し、幼児が自己決定したり主体性を発揮したりすることができる場を設定した指導計画の作成及び架け橋期のカリキュラム開発に向けたカリキュラム・マネジメント

イ 園児数の減少を踏まえた様々な体験の機会の創出や、幼児の興味・関心や発達段階に基づく環境の構成と、幼児が自己肯定感や他者への信頼感、自己有能感をもてる教師の援助の工夫

ウ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた家庭・地域との連携及び幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 6年度)	目標値 (R 7年度)	目標値 (R 10年度)
「学校に行くのは楽しい」と答えた児童生徒の割合(小6・中3) (全国学力・学習状況調査)	81.9%	82.4%	84.0%	90.0%

2 「確かな学力」の向上

(1) 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善

ア 学ぶ楽しさや喜びを実感できる体験的な学習を重視し、自ら問いを見だし各教科等の見方・考え方を働かせながら解決しようとする問題解決的な学習過程の工夫

イ 身に付けた知識や技能を活用して課題を解決する学習活動の工夫

ウ 友だちと考えを聴き合い、教え合い、学び合う場の設定の工夫

エ 地域の教育力の積極的な活用と学校の取組についての情報発信

(2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

ア ICTの効果的な活用等により、子どもたちが自分に合った学び方を選択したり、友だちと考えを共有したりして、幅広い学びにつなげるた

めの環境の構成

イ 個々の児童生徒の特性や興味・関心など、子ども一人一人の思いに応じた多様な学びの推奨

(3) 思考力・判断力・表現力等の育成

ア 教師が子どもの意欲や目的意識を高めるための支援をしながら、学びの姿を適切に見取り、自らの指導に生かす、育成すべき資質・能力を明確にした授業づくり

イ 思考過程を表現させたり比較・検討させたりする言語活動の充実

ウ 子どもたちが自分の学びの深まりを自覚し、成長を実感したり、学びのつながりを生かしたりできる振り返りの工夫

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 6年度)	目標値 (R 7年度)	目標値 (R 10年度)
「国語、算数・数学の勉強は好きである」と回答した児童生徒の割合(小6・中3) (全国学力・学習状況調査)	58.1%	58.3%	62.0%	70.0%

3 「豊かなこころ」の育成

(1) 人権教育の充実

ア 全体計画と年間指導計画の見直し・改善、人権感覚チェックリストの活用等による教職員の人権感覚の高揚及び、言語環境や教室環境の整備

イ 常時指導の充実による、互いを大切にし、認め合い、人と関わる楽しさが高まる取組の推進と、他者の痛みがわかる思いやりと優しい心の育成

ウ 子ども同士が互いを大切にし認め合い、自己有用感を高めるための温かい園・学校・学級づくりと学ぶ楽しさや喜びを味わえる授業の実践

(2) 生徒指導の充実

ア 一人一人が個性的な存在として尊重され、子どもが安心して自己を表現できる学校・学級風土の醸成と、子ども及び保護者との信頼関係に基づく積極的な先手型の生徒指導の推進

イ 不登校の未然防止や早期対応に向け、スクールカウンセラーやウオー

ムアップティーチャー、教育研究所、校内教育支援センター等の効果的な活用と関係機関との情報共有と様々な立場からの支援による組織的・継続的な指導体制の確立及び子どもたちの居場所となりうる魅力ある学校・学級づくりの推進

ウ 法の定義に則り積極的ないじめの認知、継続的な経過観察と慎重な解消の判断を進めつつ、いじめ防止基本方針のもと、関係機関と連携した生徒指導体制の確立・見直しと子どもの発達を支え、いじめを予防する生徒指導の推進

(3) 道徳教育の充実

ア 全体計画と年間指導計画に基づく、学校の教育活動全体を通じた計画的・発展的な道徳教育の推進と道徳教育の要としての特別の教科道徳科の充実

イ 家庭、地域と連携した道徳教育を推進するための協力体制の整備

(4) 特別活動の充実

ア 自己有用感を育み高める学級や学校における生活づくりの推進

イ 全体計画及び各活動・学校行事の年間指導計画に沿った、組織的・計画的な取組及び児童生徒の自発的・自治的な活動の推進

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 6 年度)	目標値 (R 7 年度)	目標値 (R 10年度)
「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合 (小6・中3) (全国学力・学習状況調査)	83.6%	84.4%	86.0%	90.0%

4 「すこやかな体」の育成

(1) 体力の向上

ア 体力テストの結果や自分の現在の体調を踏まえ、自ら運動に親しむ運動好きで活力のある児童・生徒の育成及び、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる授業の工夫

イ 仲間と積極的に関わり課題解決を行うための学習過程の工夫及び、運動量を十分に確保し体力の向上につながる指導の充実

(2) 健康教育の充実

- ア 自己の健康に関心をもち、様々な健康課題と向き合い、健康の大切さを認識し、主体的、協働的に活動できる児童・生徒の育成
- イ 食育指導の充実や生活習慣病の未然防止による、心身ともに健康な児童生徒の育成及び、望ましい生活習慣の定着を図る取組の充実

(3) 安全教育の充実

- ア 幼児児童生徒や学校園、地域の実態及び幼児児童生徒の発達の段階を考慮した安全管理の徹底及び安全教育の推進
- イ 子どもたちが日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、生涯を通じて安全な生活を送るための資質・能力の育成

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 6年度)	目標値 (R 7年度)	目標値 (R 10年度)
「運動やスポーツをすることは好きである」と回答した児童生徒の割合(小5、中2) (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	87.1%	85.2%	88.0%	90.0%

5 多様な教育的ニーズ等に対応する教育活動の充実

(1) 特別支援教育の充実

- ア 全ての教職員の特別支援教育に対する理解促進と、特別支援教育コーディネーターや児童生徒を指導する教員の専門性及び指導力の向上
- イ 個別の支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応した連続性のある多様で柔軟な学びの場の整備と、指導・支援の充実、校内支援体制の連携強化
- ウ 交流及び共同学習の計画的・継続的な実施、及び、合理的配慮の提供をとおして、多様な個性を受け入れ自立と社会参加を促進するインクルーシブ教育の推進
- エ 保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校及び福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携した、切れ目のない支援体制の構築

(2) ICTを効果的に活用した教育活動の推進

- ア 学ぶ楽しさを味わえる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた

授業改善におけるICTの効果的な活用の推進

イ 児童生徒が自らの学びを調整し、自分の力で主体的に探求、交流等を行うための情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する学習活動の推進

ウ 教職員が各種教育データを活用し、一人一人の児童生徒に応じた指導や支援ができるよう、一人一台端末等のICTを授業や校務で効果的に活用するための研修等の推進

(3) 教育研究所の充実

ア 学ぶ楽しさを味わえる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・教職員の資質向上を目指した研究・研修の充実、教育相談技術向上の推進及び社会科副読本「第五版新しい渋川」に係る指導資料等の作成

イ 園・学校・関係機関との連携を図った教育相談事業の充実と教育支援センター「かけはし」教室の充実

(4) 外国につながる児童生徒に対する教育・支援の充実

ア 日本語指導が必要な児童生徒に対し、実態に応じた計画的な取り出し及び入り込み指導

イ 市立学校への就学を希望する児童生徒と保護者への適切な情報提供及び受入体制の整備

(5) 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成するために教科横断的に取り組む多様な教育活動の充実

ア ふるさと渋川のよさを知り、渋川を誇りに思うこころを育てるふるさと学習

イ 平和の大切さを実感し、互いを尊重し、他者を思いやり、平和を希求する態度を育成する平和学習

ウ 国際的視野に立ち、積極的に異文化と関わり合い、会話を楽しむためのコミュニケーション能力を高める英語学習

エ 夢と志をもち、目標を定めて着実に歩みを進めていけるよう、自己実現を図る力を育むキャリア教育

オ 共生社会の形成者として必要な資質や実践力を育む福祉・ボランティア教育

カ 読書を楽しんだり、学校図書を学習に役立てたりする子どもを育てる学校図書館教育

キ 環境問題について主体的に考え行動できる態度や実践力を育む環境教育

ク 音楽、絵画、古典芸能など文化・芸術への触れ合いを通して豊かな感

性を育成する情操教育

ケ 危険予測、危険回避能力を高め、自他の命、安全を自ら守る態度を育成する安全教育

(6) 部活動の地域連携と段階的な地域移行

ア 渋川市スポーツ協会、しぶかわスポーツクラブ、渋川市スポーツ少年団、渋川市中学校体育連盟、PTA連絡協議会、小学校体育研究会、市長部局関係各課及び渋川市教育委員会による推進体制の整備

イ 学校部活動の教育的意義を継承しつつ、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる環境の整備を目的とした推進委員会の開催

ウ 先進事例や補助事業等を活用した積極的な試行

(7) 各種指定等研究の推進・充実

ア 群馬県教育委員会

- ・各教科等授業改善プロジェクト「音楽」
(渋川北中学校：令和7年度)

イ 渋川市教育委員会

- ・小学校教育実践研究会（渋川北小学校）
- ・中学校教育実践研究会（渋川北中学校）

6 小中学校適正規模・適正配置の推進

少子高齢化の進展や社会情勢の変化が激しい現代社会情勢においても、将来にわたって継続的に児童生徒がより良い教育を受けられる環境を整備するため、小中学校の適正規模・適正配置について全市的な視点で検討します。

また、現在進めている渋川市小中学校適正規模・適正配置基本方針の策定に向け、小中学校の適正規模・適正配置及び小中学校の在り方について保護者、地域、学校など多角的に意見を聴取し、児童生徒にとってより良い教育環境の実現に向け取り組みます。

7 学校施設の整備・充実及び長寿命化の推進

学校施設の安全性、機能性を確保し、児童生徒にとって安心して快適な教育施設の環境を整備するため、修繕を継続的に実施します。

また、空調設備の整備やトイレの洋式化など大規模改修工事は、予算が膨大となることから、小中学校適正規模・適正配置の検討を踏まえ、財政負担

の平準化を図りながら、計画的に施設の長寿命化を進めます。

(1) 小学校施設管理事業

児童が学校生活を安全かつ円滑に過ごせるように施設老朽箇所の修繕を実施

- ・長尾小学校プールろ過装置更新工事 ほか

(2) 中学校施設管理事業

生徒が学校生活を安全かつ円滑に過ごせるように施設老朽箇所の修繕を実施

8 児童生徒の通学支援

児童生徒が安全で安心して遠距離を通学できるよう利便性を第一に考え、通学支援により、児童生徒の教育の機会均等を図ります。

(1) 通学バス運行業務

市内18路線を運行

(2) 路線バス等利用における通学費の補助

ア 定められた停留所を利用し路線バスで合理的に通学する渋川西小学校、渋川北中学校及び渋川中学校の児童生徒が対象

イ 最も合理的に通学できる公共交通機関を利用して通学する小規模特認校（伊香保小学校及び小野上小学校）の児童が対象

9 学校給食の充実

児童生徒に安全安心な学校給食を安定して提供できるよう、本市における学校給食基本方針に基づく事業を推進し、学校給食の充実を図ります。

(1) 学校給食調理場の運営

南部学校給食共同調理場及び東部学校給食共同調理場の調理配送等業務委託において、受注事業者と定期的に実施状況を確認し、適正かつ円滑な運営

(2) 地産地消・食育の推進

ア 渋川市産、群馬県産食材の積極的な使用

イ 地場産食材や郷土料理を活用した食育の推進

(3) アレルギー対応食の提供

県が作成した「学校における食物アレルギー対応マニュアル」及び「渋川市学校給食アレルギー対応食提供マニュアル」に基づき、食物ア

アレルギーを有する児童生徒の実態を総合的に判断し、学校給食におけるアレルギー対応食を提供

基本方針Ⅱ 生涯学習の推進

生涯学習は楽しいものであることが大切です。市民一人一人が学びを通して自己の成長と幸福感を実感するとともに共生・協働することの尊さや価値観を共有する生涯学習活動の推進に取り組みます。特に、市民の学びの成果や地域の教育力を「ふるさと渋川を愛する人づくり」や「特色ある地域づくり」、「世代を超えたつながりづくり」に生かす取組を重視し、市民が力を発揮できる機会の拡充に注力します。

1 自ら学ぶ意欲を培う意識啓発と市民参加の促進

- (1) しぶかわ市民教育の日事業（しぶかわ市民まなびの日）を開催し、地域社会に主体的に参画する人づくりを推進
- (2) 生涯学習推進指導者養成事業の修了生主導による郷土の魅力発見事業を支援
- (3) 市民が主体的に学び、活力ある生涯学習活動を行うための学習情報の収集とわかりやすい情報提供、及び相談体制の充実
- (4) 社会教育関係団体や社会教育委員会、生涯学習推進協議会などと連携し、市民の課題解決能力の発揮を支援

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 6年度)	目標値 (R 7年度)	目標値 (R 10年度)
指導者養成講座延べ 修了者数	67人	67人	73人	87人
出前講座開催回数	39回	63回 R7.2.28現在	70回	80回

2 文化・芸術に親しむ機会の充実と活動の振興

- (1) 市民総合文化祭の開催を通して、市民の文化芸術活動を振興
- (2) 本市の特色ある文化事業であるしぶかわ能、全国創作こけし美術展、彌酔の句会、子ども歌舞伎教室、バンドフェスティバル等の開催を通して、心が豊かになる文化芸術体験・鑑賞機会を提供
- (3) 文化協会の活動支援と青少年との文化交流、文化の担い手育成の取

組推進

- (4) ホームページやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス。X（旧ツイッター）等）を活用し、文化芸術事業の開催情報や活動の魅力を発信

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 6年度)	目標値 (R 7年度)	目標値 (R 10年度)
市民総合文化祭参加 団体数	146団体	137団体	150団体	168団体

3 青少年健全育成の推進

- (1) 青少年の非行や犯罪被害を抑止するため、青少年センター員や補導員による定期的な見守り・補導活動を継続
- (2) 青少年や保護者の悩みの解決に向け、利用者に寄り添った面接、電話、電子メール、LINEによる多様な相談体制の周知及び相談活動の実施
- (3) 青少年を取り巻く環境浄化の推進に向け、青少年センター員による有害図書回収及び青少年育成推進員によるまちなみスッキリ運動の実施
- (4) インターネット利用による青少年の犯罪被害やトラブルを防止するため、青少年育成推進員を中心に「おぜのかみさま県民運動」を啓発
- (5) 青少年を取り巻く新たな課題に対応するため、青少年育成関係団体等と連携を図り課題解決に向けた取組を実施
- (6) 青少年教育関係委員等の負担感軽減を図るため、組織体制や運営方法などの見直し検討
- (7) 高校生の放課後自習室（すたでいばんく）、学生みんなの自習室（インすたでいほーる）について、利用者に寄り添った管理、運営を行い、地域で安心して学べる青少年の自主学習の環境を提供
- (8) 庁内各所属が行う事業へ青少年の参加を促し、青少年の社会参加意識を高揚

4 学校を核とした地域づくりの推進

- (1) コミュニティ・スクールを導入した学校区全てに地域学校協働活動

推進員を配置し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進

(2) 全小学校において放課後子ども教室を実施し、地域人材が自らの学習成果を生かして指導者となり子どもたちに多様な体験・活動の機会を提供

(3) 文化部活動の段階的な地域移行に向けて関係機関等と連携しながら、地域の文化活動団体から賛同を得られるよう気運を醸成

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 6 年度)	目標値 (R 7 年度)	目標値 (R 10 年度)
地域学校協働活動推進員の委嘱人数	9 人	20 人	21 人	23 人

5 共生社会における人権教育の推進

(1) 偏見や差別をなくし、多様性を認め互いに尊重することができる共生社会を築くため、様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深める人権教育及び啓発事業の充実

(2) 人権教育を行う教育集会所の活動支援と、施設の維持管理

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 6 年度)	目標値 (R 7 年度)	目標値 (R 10 年度)
人権尊重ポスター応募率 (対象：市内小学校6年生及び中学校2年生)	74.9%	84.1%	84.5%	85.2%

6 公民館活動の推進

公民館では、第3期渋川市教育振興大綱（令和5年2月）で掲げる基本方針（「家族を大切にし、ふるさと渋川を愛する心の育成」、「生涯にわたる学びと地域文化の振興」、「子どもたちが生き生きと健やかに育つまちづくりの推進」）や、第2次渋川市生涯学習推進計画（平成30年2月）で定める4つの

基本目標（学ぶ、集う、活かす、創る）等に基づき、地域の特性を踏まえながら、多世代にわたる学習の支援を行っています。

令和7年度は、主要5事業（高齢者学級、家庭教育支援学級、成人学級、青少年学級、世代間交流事業）はもとより、「育都プロジェクト」を強く意識し、子ども達の育成に重点を置いた事業の推進に努めます。

（1） 郷土を愛する人づくりと地域づくり

生まれ育った地域の伝統・文化の学びを通じ、ふるさと渋川への愛着と誇りを持てる人づくり、地域づくりに努めるとともに、地域間交流の拡大や世代間交流を推進

（2） コミュニティ・スクールとの連携、協働

令和6年度から、全ての小中学校でコミュニティ・スクールが導入されたことから、公民館が地域と学校を「つなぐ」重要な接点となり、子ども達を育成できるよう、積極的に連携、協働を推進

（3） 効果的な施設運営

防災や子育て支援等、様々な行政需要に対応できる地域の拠点施設として、地域特性に適合した取組を実施

また、老朽化が進む施設や設備については、計画的に修繕を図り、子どもから高齢者まで、より大勢の市民が集い、活動できる良好な環境づくりを実施

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 6年度)	目標値 (R 7年度)	目標値 (R 10年度)
公民館利用者数 (公民館概要による)	211,530人	165,284人 R6.12.31現在	249,000人	304,000人

7 図書館運営の推進

市民が生涯にわたって読書活動を行うことができる環境整備や市民の多様な学習活動を支援し、市民にとって身近で魅力ある図書館を目指し、幅広い世代に向けたサービスを提供します。

（1） 親子で楽しめるおはなし会や子ども映画会、作家講演会等の催しを通して図書館への来館を促し、読書活動を推進

黒川子ども文庫での職員による読み聞かせを行い、絵本の楽しさやお

すすめ本の紹介等、気軽に来館できる環境の整備

- (2) 図書館と公民館図書室のネットワークを活用した図書館管理システムにより、市内全域に均一な図書館のサービスと、幅広い資料の収集や情報等を提供

インターネット経由した図書の予約や貸出延長、新着案内のメール配信等サービスの提供

- (3) 大活字本やLLブック、朗読CD等の資料収集や来館困難者への資料配送サービス等、ハンディキャップ・サービスの提供と共生社会実現に向けた取組を継続

- (4) 一人一人の赤ちゃんに読み聞かせをして絵本を手渡すブックスタート事業を継続し、親子で本に触れるきっかけを作り、豊かな心を育む読書活動を推進

- (5) 図書館司書による学校訪問や学校図書館事務補助員等の研修を行い、学校図書館との連携を強化し、子どもの読書活動を推進

- (6) 読み聞かせボランティア等を対象とした講座や交流会等の実施を通して読み聞かせボランティア等の連携と活動支援

- (7) 学校教育や社会教育等における視聴覚教育の振興と視聴覚ライブラリーの利用促進

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 6 年度)	目標値 (R 7 年度)	目標値 (R 10 年度)
資料貸出人数	101,089人	76,078人 R6.12.31現在	104,000人	111,000人

8 美術館事業の推進

新美術館は、令和6年3月3日(日)にリニューアルオープンしました。「つながらり ひろがる あおぞら美術館」のコンセプトの下、引き続き芸術文化活動の拠点として、芸術に触れる機会を提供し、美術館主催によるワークショップや企画展等の充実を図るとともに、美術館運営協議会においてご意見をいただきながら、多くの市民とともに美術館を育てていきます。

- (1) 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館運営協議会の運営
- (2) あおぞら美術館を推進し彫刻作品の屋外展示を拡充
- (3) 市民らが美術に触れ、参加するきっかけとなるワークショップ
- (4) 小中学生対象の市内4館をめぐるスタンプラリーの開催

- (5) 作家と市民らをつなげる渋川をテーマとした企画展示、また、ジャンルにとらわれない企画や発表など
- (6) 渋川・北群馬図工美術作品展等の学校教育連携による美術鑑賞機会の提供

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 6 年度)	目標値 (R 7 年度)	目標値 (R 10年度)
美術館企画展示室 入場者数	R6. 3. 3～ 1,464人	9,315人 R7. 2. 28現在	10,000人	12,000人

9 文学館事業の推進

市民をはじめ多くの来館者が心の豊かさを享受できるように、ふるさと渋川への愛着と誇りの醸成と文化の薫り高い地域づくりに貢献する施設としていくことを「徳富蘆花記念文学館」の目的として、新しい生活様式に配慮しながら以下の事業を進めます。

- (1) 明治の文豪「徳富蘆花」終焉の間（蘆花記念会館）の保存と公開
- (2) 徳富蘆花に関わる資料の保管と展示
- (3) 群馬県立土屋文明記念文学館と協働した移動展を開催
- (4) 収蔵品を活用した来館者が楽しく学べる企画展の開催
- (5) 徳富蘆花を偲ぶお茶会と小学生を対象とした茶道体験教室を開催
- (6) 小、中学生から高齢者まで生涯を通じた幅広い世代への学習機会の提供及びその周知活動の実施
- (7) 小中学生対象の市内4館をめぐるスタンプラリーの連携
- (8) ホームページ等の電子媒体を活用した施設内外の近況や蘆花が記した書物の一節等の紹介
- (9) 収蔵資料の全数点検整理及び閲覧

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 6 年度)	目標値 (R 7 年度)	目標値 (R 10年度)
文学館入館者数	4,940人	3,714人 R7. 2. 28現在	5,000人	6,000人

基本方針Ⅲ 文化財の保護と活用

先人が築き、守り、受け継がれてきた市民共有の財産である文化財の保護を図るとともに、地域に伝わる郷土芸能や伝統文化の保存・継承活動の支援の充実を図ります。市民文化の向上と魅力ある地域社会の形成に寄与するため、郷土の文化財の活用及び情報発信を進め、文化財への理解の促進に努めます。

1 文化財の保護・管理の推進

- (1) 市内に所在する文化財の把握・調査・研究及び資料整備の推進
- (2) 指定文化財等の定期的なパトロールと適切な保護・管理の推進
- (3) 埋蔵文化財の発掘調査と資料整理、適切な保存措置の推進
- (4) ヒメギフチョウの保護のための調査・研究と生息域環境整備等の推進、県との連携強化

2 文化財の活用と整備の推進

- (1) 国史跡等の学術的調査・研究と、保存・整備の推進
- (2) 金井東裏遺跡・黒井峯遺跡をはじめとする榛名山噴火関連遺跡に係る講演会・展示会・現地見学会・出前講座等による情報発信及び群馬県との連携
- (3) 市内の文化財や遺跡の見学会、講座等による情報発信
- (4) 新しい生活様式に配慮した学校教育・生涯学習における歴史・民俗資料の活用及び歴史資料館を活用した体験学習活動の推進
- (5) 歴史資料館及び市内に点在する収蔵庫の再編統合に向けた検討

◆指標

指標名	基準 (R 5年度)	実績値 (R 6年度)	目標値 (R 7年度)	目標値 (R 10年度)
出前講座実施回数	9回	9回	10回	12回

3 伝統文化の保存・継承活動の支援

- (1) 伝統芸能、伝統文化の保存・活用・発表活動・設備等修繕に対する補助金交付等による支援

- (2) 後継者育成及び伝承活動への民間助成金や学習機会等の情報提供及び助言
- (3) 伝承活動団体への学習・活動等機会の情報提供

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 6 年度)	目標値 (R 7 年度)	目標値 (R 10年度)
伝承活動団体への補助金交付件数	16件	16件	16件	16件

4 自主活動団体の育成・支援

- (1) ボランティア団体や文化財関係団体への情報提供等による支援
- (2) 歴史資料館等を活用し、自主活動団体と連携事業の実施
- (3) 新しい生活様式をふまえた活動内容等の支援

◆指標

指標名	基準 (R 5 年度)	実績値 (R 6 年度)	目標値 (R 7 年度)	目標値 (R 10年度)
自主活動団体実施の体験教室等件数	20件	20件	20件	20件